

令和 6 年度

教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書
(令和 5 年度事業)

令和 6 年 9 月

北中城村教育委員会

は じ め に

教育委員会は、教育行政の効率的な推進を図るとともに、村民への説明責任を果たしていくため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

北中城村教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について（令和5年度事業）」村教育委員会事務点検評価委員会の諮問および答申の内容を取りまとめ、村議会へ提出するとともに、あわせて村民へ公表するものであります。

この度の点検及び評価を踏まえ、今後も事務の改善等に役立て、本村の教育行政の一層充実を図ってまいります。

令和6年9月

北中城村教育委員会

教育長	徳村永盛
教育長職務代理者	城間健二
委員	安和淳一
委員	安谷屋建
委員	翁長麻紀子

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

取り組みの経過・・・・・・・・・・・・・・・・	1
事務点検評価について・・・・・・・・	2
諮問文・・・・・・・・	3
点検評価項目・・・・・・・・	4
答申書・・・・・・・・	6
点検評価結果書	
I 教育委員会制度の点検評価・・・・・・・・	7
(1) 教育委員会議の開催状況	
(2) 教育委員の研修会	
(3) その他の活動	
(4) 教育委員会の予算・決算の状況	
II 事務事業について・・・・・・・・	10
(1) 幼稚園・学校教育の充実	
(2) 生涯学習の推進	
(3) 地域文化の振興	
資 料	
北中城村教育委員会事務点検評価委員会規則・・・・・・・・	26

取り組みの経過

教育事務点検評価の委員会事務局の取り組みについては、下記のとおりです。

事 務 ・ 会 議	開催日	主 な 内 容
事務点検内部評価作成指示	令和6年6月27日	関係各課係長へ事務点検内部評価書の作成指示
事務点検内部評価書の作成締め切り	令和6年7月12日	内部評価書のとりまとめ
諮 問	令和6年8月15日	教育委員会教育長から教育委員会事務点検評価委員長へ諮問
第 1 回 会 議	令和6年8月15日	事務事業について課長及び各係長とのヒヤリング(教育総務課・学校給食共同調理場・幼稚園)
第 2 回 会 議	令和6年8月22日	事務事業について課長及び各係長とのヒヤリング(生涯学習課)
答申案とりまとめ①	令和6年8月22日	答申案のとりまとめについて協議
答申案とりまとめ②	令和6年8月30日	委員意見、答申書の確認
答 申	令和6年8月30日	教育委員会事務点検評価委員長から教育委員会教育長へ答申

事務点検評価について

(1) 点検評価対象年度

令和5年度

(2) 点検評価内容

諮問文のとおり

(3) 点検評価の方法

- ① 点検評価内容については、「教育委員会の機能充実」の視点から抽出された事務事業に加え、北中城村第四次総合計画のなかで、将来像である「平和で人と緑が輝く 健康長寿と文化のむら きたなかぐすく」を築くため、まちづくりの6大目標を掲げており、そのうち、人と文化を育み時代を担う”人づくり”のなかで、「学校教育の充実」、「生涯学習の推進と生きがいづくり」、「地域文化の振興と継承」の3分野から抽出された本村教育委員会の事務事業となっています。

点検及び評価の方法については、事務事業の進捗状況を明らかにし、PDCAサイクルの視点から「plan(計画)」事業計画の妥当性、「do(実行)」、「check(検証)」事業実施から得られた成果の検証、「Action(対策・改善)」次年度以降の課題や取り組み方を検証し対応策を示します。

- ② 点検・評価にあたっては、客観性や中立性を確保するため教育に関する有識者(事務点検評価委員)のご意見をお聞きする機会を設け、様々なご意見やご助言を頂き報告書の作成にあたっております

③ 進捗状況の区分

順調	当初の計画通り行われている(90%以上の実施)
概ね順調	当初の計画と比較して概ね実施できている(75%以上～90%未満)
やや遅れ	当初の計画と比較して未実施の部分がある(60%以上～75%未満)
大幅な遅れ	当初の計画と比較して多くの部分で実施できなかった(60%以上～75%未満)
未実施	当初の計画について未実施

(4) 事務点検委員

委員氏名	経 歴 等
大城博	元生涯学習課長
玉城若子	元小学校教員、元北中城村婦人会長
荻堂盛正	元中学校父母教師会会長

諮 問

北中城村教育委員会事務点検評価委員会委員長 様

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、北中城村教育委員会事務点検評価委員会規則第2条の規定により諮問します。

諮問事項

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価（令和5年度事業）について

諮問理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施するため

令和6年8月15日

北中城村教育委員会

教育長 徳村永盛

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検評価項目

I	教育委員会制度の点検評価	
	教育委員会議の開催及び委員活動状況	教育総務課
II	事務事業について	
	1. 幼稚園・学校教育の充実	
	・総合英会話指導支援事業	教育総務課
	・特別支援教育支援員配置事業	教育総務課
	・学習支援員配置事業	教育総務課
	・理科観察実験支援事業	教育総務課
	・就学援助事業	教育総務課
	・教育相談員配置事業	教育総務課
	・学校ICT活用支援事業(コンピュータ支援員)	教育総務課
	・学力向上推進協議会事業	教育総務課
	・地域学力向上支援事業	教育総務課
	・北中城村育英会事業	教育総務課
	・小・中学生の県外等派遣に関する補助事業	教育総務課
	・北中城小学校擁壁改修事業	教育総務課
	・中学校プール目隠しネット設置事業	教育総務課
	・村立小学校トイレ改修事業	教育総務課
	・スクールバス運行事業	教育総務課
	・中学校スクールバス運行事業	教育総務課
	・幼稚園預かり保育事業	教育総務課
	・青少年姉妹町村研修事業	教育総務課
	・幼稚園預かり保育園児・教諭への給食提供	教育総務課
	・学校給食における地産地消	学校給食調理場
	・学校給食共同調理場改修工事	学校給食調理場

2. 生涯学習の推進

・公民館事業(各教室・講座)	生涯学習課
・第22回生涯学習フェスティバル	生涯学習課
・地域学級等補助事業	生涯学習課
・中央公民館空調機器設置工事	生涯学習課
・放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
・地域学校協働本部推進事業	生涯学習課
・社会教育団体育成補助事業	生涯学習課
・はたちを祝う記念式典	生涯学習課
・第19回夏休み海外短期留学派遣事業	生涯学習課
・第14回北中城村英語キャンプ・プログラム(ECP)事業	生涯学習課
・北中城村DOTEプログラム	生涯学習課
・あやかりの杜運営管理事業	生涯学習課
・あやかりの杜滞在型施設活用事業	生涯学習課
・第23回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会	生涯学習課
・海邦国体記念第33回北中城村長杯県選抜少年サッカー大会	生涯学習課
・北中城村スポーツ協会補助事業	生涯学習課
・北中城村少年野球連盟補助団体	生涯学習課
・九州スポーツ推進委員協議会九州大会派遣事業	生涯学習課
・北中城村児童生徒の県外派遣に関する補助事業	生涯学習課
・北中城村スポーツ推進委員協議会	生涯学習課
・各体育施設等の利用	生涯学習課

3. 地域文化の振興

・北中城村史編纂事業	生涯学習課
・基地内文化財発掘調査事業	生涯学習課
・歴史文化継承基盤整備事業	生涯学習課
・文化活動の推進	生涯学習課
・文化財保護事業	生涯学習課

答 申 書

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

令和 5 年度事業

令和 6 年 9 月

北中城村教育委員会事務点検評価委員会

答 申 書

北中城村教育委員会

教育長 徳村 永盛 殿

本事務点検評価委員会は、令和6年8月15日、村教育委員会教育長から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」（令和5年度事業）の諮問を受け、教育委員会の47事業について、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行いましたので本日ここに答申するものであります。

教育委員会におかれましては、コロナウイルス感染症が昨年5月に「5類感染症」への移行に伴い、ウイズコロナの中で創意工夫を凝らしながら事業は概ね順調に取り組まれています。

今後とも事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書を踏まえ、翌年度以降の事業計画、予算編成に活かされ、教育に関する事務事業の効果的な執行に努めて頂きたい。

令和6年8月30日

北中城村教育委員会事務点検評価委員会

委員長 玉 城 若 子

委員 大 城 博

委員 荻 堂 盛 正

点検評価結果書

I 教育委員会制度の点検評価

II 事務事業について

北中城村教育委員会事務点検評価委員会

I 教育委員会制度の点検評価

教育委員会制度は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の第3条により教育委員会は、教育長及び4人の委員をもって組織し、同法第4条第1項により教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て、任命する。また同条第2項により「委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命する。」と規定されています。

《教育委員》

教 育 長	委 員 (教育長職務代理者)	委 員	委 員	委 員
徳 村 永 盛	知 念 絹 代	安 和 淳 一	城 間 健 二	安 谷 屋 建

(1) 教育委員会議の開催状況

定例会教育委員会議の開催は、毎月第1木曜日を定例としているが、緊急な議案の対応については、その都度臨時会を開催しております。

1) 令和5年度の開催回数 定例会 12回 臨時会 2回

2) 定例会、臨時会での議案件数 30件

報告事項 7件

その他事項 12件

3) 定例会・臨時会における主な審議内容

月	審 議 内 容
4月 定例	議 案 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
	その他事項 行政報告
5月 定例	議 案 北中城村立学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例、他5件
	その他事項 行政報告 村社協の現理事の任期満了に伴う新理事の推薦について
6月 定例	議 案 北中城村立学校施設の使用に関する規則の一部を改正する規則、他2件
	その他事項 行政報告
7月 定例	議 案 北中城村歴史的風致維持向上計画推進協議会設置要綱の制定、他2件
	その他事項 行政報告

月		審 議 内 容
7月	臨時	議 案 令和6年度以降使用小学校教科用図書の採択について
		その他事項
8月	定例	議 案 なし
		その他事項 行政報告
9月	定例	議 案 北中城村通学バス運行管理規程の新規制定、他1件
		その他事項 行政報告
10月	定例	議 案 北中城村学校運営協議会に関する補助金交付要綱の制定、他2件
		その他事項 行政報告
11月	定例	議 案 北中城村立体育施設設置及び使用料に関する条例の一部を改正する条例、他2件
		その他事項 行政報告
12月	定例	議 案 なし
		その他事項 行政報告、北中城村事務点検評価委員会の答申について
1月	定例	議 案 北中城村学校給食費補助金交付要綱の一部改正、他2件
		その他事項 行政報告
2月	定例	議 案 あやかりの杜の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
		その他事項 行政報告
2月	臨時	議 案 令和6年度定期人事異動(管理職)の内申について
		その他事項
3月	定例	議 案 北中城村教育業務支援員設置要綱の制定について
		その他事項 行政報告

(2) 教育委員の研修会

沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会

市町村教育委員研修会

中頭地区市町村教育委員会協議会講演会

市町村教育委員会教育委員・教育長研修会

(3) その他の活動

学校訪問 幼稚園、北中城小学校、島袋小学校、北中城中学校

入学式 幼稚園、北中城小学校、島袋小学校、北中城中学校

卒業式 幼稚園、北中城小学校、島袋小学校、北中城中学校

その他 村教職員辞令交付式、地域教育懇談会、運動会、村スポーツ協会陸上競技大会、村学力向上推進授業研究会、総合学習発表会、生活発表会、中頭地区学対実践推進大会等

(4) 教育委員会の予算・決算状況

令和5年度教育費(歳出)の当初予算額と決算額は以下のとおりです。

令和5年度教育費(歳出)の当初予算額は1,363,136,000円で、一般会計歳出予算額に対する構成比は13.3%であり、同じく決算額は、1,301,907,274円で構成比は13.6%となっています。

令和5年度歳出決算の概要(教育費)

(単位:円)

費 目	当 初 予 算	決 算 額
一 般 会 計 総 額	10,188,943,000	9,554,112,179
教 育 委 員 会 総 額	1,363,136,000	1,301,907,274
9款 教育費	1,335,948,000	1,276,638,475
1項 教育総務費	172,770,000	91,726,656
1目 教育委員会費	2,333,000	2,211,943
2目 事務局費	170,437,000	89,514,713
2項 小学校費	389,089,000	391,066,968
1目 学校管理費	358,103,000	360,205,904
2目 教育振興費	30,986,000	30,861,064
3項 中学校費	86,747,000	95,611,212
1目 学校管理費	61,260,000	72,109,113
2目 教育振興費	25,487,000	23,502,099
3目 学校建設費	0	0
4項 幼稚園費	64,547,000	61,153,459
1目 幼稚園費	64,547,000	61,153,459
5項 社会教育費	399,643,000	396,765,057
1目 社会教育総務費	92,647,000	88,372,377
2目 公民館費	37,896,000	40,789,558
3目 文化財保護費	196,887,000	195,287,350
4目 あやかりの杜運営費	72,213,000	72,315,772
6項 保健体育費	223,152,000	240,315,123
1目 保健体育総務費	17,326,000	15,376,019
2目 体育施設費	50,175,000	69,445,956
3目 学校給食費	155,651,000	155,493,148
2款 総務費	27,188,000	25,268,799
1項 総務管理費	27,188,000	25,268,799
14目 村史編纂費	23,916,000	21,072,242
15目 文化振興費	3,272,000	4,196,557

Ⅱ 事務事業について

1 幼稚園・学校教育の充実

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【1】 総合英会話指導支援事業(ALT)	村立小中学校及び幼稚園に英語圏出身の外国人講師を指導助手として配置することで、発音や基本的な表現に慣れ親しませながらコミュニケーション能力の素地を養い、「聞く・話す・読む・書く」の4技能の育成をバランス良く図り、国際性豊かな人材育成へと繋げる。	村立幼小中学校へ英会話指導員を配置する。 小学校2校:2人(幼稚園兼務1人) 中学校1校:1人 小学校低学年では交流(歌やゲームなど)を通して体験的な活動を行い、高学年ではコミュニケーションを重視した育成を行う。中学校では、チームティーチングやグループワーク等を行う。	国際社会における英語の習得は重要なスキルのひとつである。ネイティブの英語に触れること異文化の情報を得ることは将来の児童生徒の財産となると考える。 ○委員意見 授業が楽しいと感じる割合が多いのは良い取組だと思う。今後も継続していただきたい。
【進捗状況】 順調	③成果	④課題・方向性	
【決算額】 9,600,969円 担当;教育総務係	継続的にネイティブスピーカーに接することで英語への興味関心が高い。英語検定(英検Jr含む)受験者数193人 授業が楽しいと感じる児童生徒の割合94.2%	英語検定等の受験者数が年々減少しているが、改めて国際化社会における英語の重要性と必要性を理解させ、案内・周知の徹底を図りながら、受験機会の創出に取り組む。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【2】 特別支援教育支援員配置事業	村立幼小中学校において、特別に支援を要する幼児児童生徒に対し、学習や学校生活における困難等に支援や改善を行う支援員を配置することで教育的配慮を図る。	園及び各校の支援計画に基づき支援員を配置する。	対象となる児童生徒の一人一人の障害の実態や程度、その特性にふさわしい特別の教育課程を編成し、各教科等の指導の充実を図る。 継続的に支援員が配置できるよう財政面の配慮や人員の確保について積極的に情報の発信・収集が必要である。 ○委員意見 支援員の研修を多く行い、スキルアップを図ってほしい。他の市町村より多くの人員が配置されており、予算を確保して続けてほしい。
【進捗状況】 順調	③成果	④課題	
【決算額】 43,462,635円 担当;教育総務係	支援員数 幼稚園:4人 小学校:11人(北小7人、島小4人) 中学校:4人を配置	障がいの状態や病状により、支援が必要な幼児児童生徒の支援のニーズが多様化しており、支援員の資質向上を図る必要がある。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【3】 学習支援員配置事業	学習の遅れがちな児童生徒に対し、基礎的・基本的知識や技能の習得に向けた支援を行うことで、基礎学力の向上を図る。	各校へ1名配置する。	本事業の効果検証を行い、学習支援員の効果的な活用を進める。 授業の中で学習をサポートし児童生徒の単元習得の支えとなっている。さらにきめ細やかな支援をするため支援員の指導力向上のために研修を充実する。 ○委員意見 教師の負担軽減にもなる。サポートの必要な児童生徒を取り残さないためにも必要な取り組みである。
【進捗状況】 順調	③成果	④課題	
【決算額】 8,812,996円 担当;教育総務係	沖縄県学力到達度調査結果 正答率(30%未満)の割合 算数:14.0% 数学:52.5% 無答率の割合 算数:6.5% 数学:16.2%	各校へ1名の配置であり、効率的な運用を目指し、教職員との連携の在り方を考えていく必要がある。	

Ⅱ 事務事業について

1 幼稚園・学校教育の充実

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【4】 理科観察実験支援事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 5,862,350円 担当;教育総務係	小学校における理科の観察・実験に使用する設備の準備・調整等を行う補助員を配置し、理科の観察・実験活動の充実を図るとともに児童の基礎学力の定着を図る。	村立小学校へ理科観察実験支援員を配置する。 小学校2校:2人	専門的な知識を持つ支援員を配置することで、教職員の負担の軽減にもつながり、児童生徒が安心して安全に実験・観察が行えている。 ○委員意見 理数系離れが進んでいると聞いており、良い取組である。小学校だけでなく中学校でも実施してほしい。
	③成果	④課題	
	専門的な知識と経験を有する支援員が配置されることにより、実験の準備・後片付けや予備実験など、時間と手間のかかる業務が軽減した。また、専門的な知識を持つ支援員に、教員がわからないことを質問できる環境を整えることで、教員の理科の授業力が上がるとともに児童の意欲が向上した。	引き続き支援員を配置することで、基礎学力の定着・理科教育の振興を図る。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【5】 就学援助事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 35,905,000円 担当;教育総務係	学校教育法により義務教育を受ける児童・生徒が経済的理由により就学が困難な保護者に対し、学用品や修学旅行費、医療費、学校給食費等の一部を援助することにより義務教育課程の円滑化を図る。	新規申請 4月～5月 入学前申請 1月 継続申請 3月 追加申請 随時	経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者に対し援助金を支出することで、保護者の経済的な負担を軽減することができた。 ○委員意見 物価高騰も進んでおり、生活に困窮する家庭も多くなっており、大切な取り組みである。財源としてふるさと納税なども活用できないか。潜在的にもっと多くの家庭に需要があると思われるので拾い上げる取り組みを進めてほしい。
	③成果	④課題	
	援助率(%) 北中城小学校 24.4 島袋小学校 21.4 北中城中学校 27.1	就学援助制度について、必要とされる世帯に対し周知が図れるよう、工夫が必要である。また、申請件数が増加する中、より一層事務の効率化を図るほか、迅速に支給を行う必要がある。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【6】 教育相談員配置事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 2,709,644円 担当;教育総務係	児童生徒の悩み相談、話し相手、保護者との相談に対応するため教育相談員を村中央公民館へ配置している。小学校及び中学校への巡回も行うことで、いじめや不登校等の諸問題に対する対策を講じ、早期発見と予防を図る。	中央公民館へ相談員一人を配置する 各小中学校を巡回し相談業務を行う。	児童生徒へのカウンセリングや保護者への助言・援助を行い、適切な相談支援をすることができた。 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と密に連携を取りながら、諸課題の未然防止に取り組む必要がある。 ○委員意見 困りごとや心配事を抱えている親や子どもも多くなっている。村でもSSWを配置してほしい。
	③成果	④課題	
	SSW、関係機関と連携しながら児童生徒や保護者の相談等に対応した。	より充実した相談体制を構築するために、教育相談員のスキルアップが必要である。そのためには、教育相談員に研修の機会を与える必要がある。	

Ⅱ 事務事業について

1 幼稚園・学校教育の充実

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【7】 学校ICT活用支援事業 (コンピュータ支援員配置) 【進捗状況】 順調 【決算額】 2,921,934円 担当;教育総務係	コンピュータの操作指導やITに関する専門的な知識向上のため、支援員を配置し、IT教育の推進を図る。	村立小中学校に1名配置し、現行システムの運用・メンテナンス、障害機器対応及び授業の補助を行う。	教員のICT機器の活用や機器の不具合の対応、情報セキュリティ対策等を強化するため、専門的な知識をもつICT支援員のサポートは大変重要である。 ○委員意見 教師のリテラシーの面からもコンピューター支援員は必要である。国もデジタル化やDXに向けて加速しており、大事な事業だと認識している。
	③成果	④課題	
	教員のICT機器の活用や機器の不具合の対応などについて、保守委託業者と連携しながら速やかに対応できた。	学習支援システムの利用方法に関する校内研修や授業支援なども行っていく必要がある。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【8】 学力向上推進協議会事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 429,170円 担当;教育総務係	本村の児童生徒の基礎学力の向上を目指し、学校・地域・家庭が一体となった学力向上の取り組みを推進する。	5月 全国学力調査(文科省) 5,6月 村計画学校訪問 6月 村幼小中連携部会 7月 村新任教職員平和教育 7月 わったーわらばー会 10月 村イングリッシュコンテスト 11月 授業研究会(中学校) 2月 村「教育の日」式典 2月 中頭地区学力向上推進実践発表会 3月 村学校教育部会	引き続き、課題にもあるようにコロナ前の状況へ戻す取り組みを行っていく必要がある。 ○委員意見 わったーわらばー会の希望自治会が少ないのは、新型コロナの影響で会の持ち方が分からないので、教える必要がある。地域の教育力を高めるには良い取組であり、学校とのコミュニケーションも取れるので良い事業である。是非継続していただきたい。
	③成果	④課題	
	授業改善を中心とした実践的な幼小中学校の連携により、全国学力・学習状況調査において、平均正答率が小学校は全国並み、中学校では全国平均に近づいている。	イングリッシュコンテストなどは多数の来場があったが、わったーわらばー会などは開催を希望する地区が減っており、コロナ前本来の形態に戻すための取り組みが必要である。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【9】 地域学力向上支援事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 ちむあぐみ塾 704,552円 検定受検料補助 619,700円 担当;教育総務係	学校のみならず地域も巻き込んだ学力向上対策と、各種検定の受検料を半額補助することで学習に対する意欲の向上を図る。	・ちむあぐみ塾 各自治会公民館にて学習支援塾を設置する。 ・検定受検料補助事業 村内小中学校の児童生徒に各種検定料の半額を補助する。	ちむあぐみ塾については、6自治会で開催され、51人の子ども達が参加し、自治会公民館の活性化や子ども育成会の発展などの地域力向上が図られ、子ども達の居場所づくりとしても有益であった。 ○委員意見 ちむあぐみ塾については、ネーミングも良く、ゆいまー精神もあり良い取組である。しかし、6自治会しか実施していないのは村のPR不足なのではないか、広く村民に周知する必要がある。検定受検料の補助については効果に疑問が残る。
	③成果	④課題	
	・ちむあぐみ塾6自治会が実施 学校・家庭・地域の連携により、学力向上や地域活性化に寄与した。 ・検定受検料補助事業 多くの児童生徒に検定に挑戦する機会を与え、目標達成の喜びや基礎学力の定着を図ることができた。	・ちむあぐみ塾 6自治会でしか設置されておらず、多くの自治会が設置できるように周知が必要である。 ・検定受検料補助事業 学校の協力が必要不可欠な事業のため、密な連携が必要となる。	

Ⅱ 事務事業について

1 幼稚園・学校教育の充実

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【10】 北中城村育英会事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 12,067,330円 担当;教育総務係	大学への進学を志しているが、経済的理由により就学困難な村内在住の生徒に資金の貸付けを行うことで就学をサポートし、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材育成を図る。	4月 通常募集受付 9月 予約奨学生募集受付	優秀な学生が経済的理由により高等教育をあきらめることなく進学し、人材育成に寄与できた。 ○委員意見 人材を育てるためにも大事な事業であり続けてほしい。償還が厳しい人の相談窓口も必要である。
	③成果	④課題	
	令和5年度に7人の奨学生を新規採用した。 令和5年度の貸与総額は8,061,890円となった。(17名)	年度により新規採用者数に偏りがあるため、安定的に事業を継続するため募集方法等の検討が必要と思われる。 また、入学時特別増額貸与制度の検討なども必要である。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【11】 小・中学生の県外等派遣に関する補助事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 1,599,000円 担当;教育総務係	村立小中学校の児童生徒が学校教育の一環として県外等に派遣される場合に、その派遣費用の補助を行い、積極的に県外等への派遣を促し、全児童生徒に等しくその機会を与えることにより、児童生徒の健全育成及び人材育成を図る。	・派遣団体数8団体(150人) ・派遣された児童生徒の学習意欲向上等に繋がっているか保護者に対するアンケート調査を実施	沖縄県は本土から陸路がない島嶼県であることから、空路利用には保護者にとって負担があるが、本事業により負担軽減を図れた。 また県外へ派遣されることを通して視野も広がり、意欲向上がみられ、もって北中城村を担う人材育成にも繋がっている。 ○委員意見 子ども達のモチベーションを保つためにも必要な事業であり、教育的効果も高い。予算を確保して続けていただきたい。
	③成果	④課題	
	・4団体(23人)に対し派遣費補助を行った ・67.5%の保護者が「視野が広がった」「積極的になった」という意欲向上の項目に回答	引き続き補助を行うことで、児童生徒の健全育成及び人材育成につなげる。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【12】 北中城小学校擁壁改修事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 69,052,500円 担当;教育総務係	擁壁の老朽化によりクラック等の変状がみられるため、児童の安全性を確保するため、設計及び工事を実施する。	R3 測量設計 R5 工事 R5 現場技術監理業務	早期に擁壁の改修を終える事ができたが、校舎だけではなく、学校周辺の状況も含めて点検が必要となる。 ○委員意見 近隣住民の安全も確保され、敷地も広くなり綺麗になったので良い取組であった。
	③成果	④課題	
	老朽化した擁壁が新設され、児童生徒や近隣住居地の安全が確保された。	擁壁の背面は埋め土となっており、完了後の沈下や擁壁のクラックなどが発生しないか定期的な確認が必要である。	

Ⅱ 事務事業について

1 幼稚園・学校教育の充実

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【13】 中学校プール目隠しネット設置事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 7,118,650円 担当;教育総務係	県道宜野湾北中城線の開通に伴い、道路から中学校プールが容易にみられる状況が発生することから、子ども達が安心して学習活動が行えるよう目隠しネットの設置を行う。	令和4年度中に沖縄県との補償契約を締結し、令和5年度のプール授業開始までに目隠しネットを設置する。	プール開きまでに工事を完了する事ができ、子ども達が安心して学習活動が行えるようになった。 ○委員意見 早めに工事を終える事ができて良かった。
	③成果	④課題	
	令和5年1月 公共補償契約の締結 令和5年2月 工事契約締結 令和5年5月 工事完了	強風時のネットの上げ下げや、使用中の不具合がないか確認しながら使用する。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【14】 村立小学校トイレ改修事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 110,705,100円 担当;教育総務係	築25年以上を経過した村立小学校2校のトイレを全面改修し、児童の安全安心で快適な教育環境を確保する。	R4 北中城小学校実施設計 R5 北中城小学校工事 R5 島袋小学校実施設計 R6 島袋小学校工事	生活様式の変化に伴い、和式便器を使用したことがない児童が増えているためトイレの洋式化を実施するとともに老朽化により詰まり等が多発している配管の布設替えを行い、教育環境の改善を図る必要がある。 ○委員意見 引き続き学校施設のトイレの洋式化を進めてほしい。
	③成果	④課題	
	北中城小学校の工事と島袋小学校の設計が完了した。	工事が完了した北中城小学校について不具合がないか確認する。また、今後工事を行う学校については、児童が安全安心に学校生活を送れるよう十分に安全配慮を行う必要がある。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【15】 スクールバス運行事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 17,447,027円 担当;教育総務係	幼稚園の登園・降園、北中城小学校の下校時にスクールバスを配車することにより、園児・児童の安全対策を図る。	大型バス3台を配車して通学バスを運営する。	スクールバス運行については、小中学生を対象としたバス検討委員会から、美崎地区など遠隔地を周回することの必要性等の答申が出されている。第1段階として、次年度には小学校低学年を対象とした登校時の配車を行い、順次拡充していく予定であるが、多くの懸念事項があるため慎重な対応が求められる。 ○委員意見 瑞慶覧、美崎など遠隔地での運行については考えられるが、それ以外は徒歩を推奨してはどうか。コミュニティーバスなどの活用も考えられないか。
	③成果	④課題	
	9月より小学校低学年の登校バスがスタートし、4年生まで拡大することができ、保護者の負担軽減に寄与した。	北中城小学校登校バスについては高学年も含めて拡大する必要がある、利用希望者の把握、ルート変更などの検討が必要である。	

Ⅱ 事務事業について

1 幼稚園・学校教育の充実

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【16】 中学校スクールバス 運行事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 5,235,852円 担当;教育総務係	登下校時の交通の利便性が低い島袋地域の中学生に対し、スクールバスおよびバス運転手を配置することにより、島袋地域から中学校間の利便性の向上と安全確保を図る。	大型バス1台およびバス運転手を配置して通学バスを運営する。	運行業務委託により、運転手休業時の代替確保や急なバス時刻の変更などが確実に行え、運行管理も適正に実施でき、安定的な運行がなされている。 ○委員意見 予算を確保して、安定的に運行できるようお願いしたい。
	③成果	④課題	
	子どもたちの安全安心を第一として学校と連携して運営した。保護者の負担軽減に寄与した。	島袋地区だけの運行であり、他の遠隔地への配車を財政状況やニーズを踏まえ検討していく必要がある。また、使用しているバスの老朽化により故障修理も多いことから買換えについても検討する必要がある。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【17】 幼稚園預かり保育事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 13,702,315円 担当;幼稚園	幼稚園教育課程に係る教育時間終了後の午後に希望する在園児を預かり保育することで心身の健全な発達、幼児の生活全体が豊かなものとなるよう幼稚園と家庭が連携して子育て支援をする。	保護者の就労等で午後の保育を必要とする希望者全員に対し、預かり保育を実施する。	幼稚園児の数は減っているが、利用者数は増加傾向にあり、利用者のニーズは高い。保護者からは、ゆとりを持って子育てを行うことができたなどの声も聞かれており、午後の保育を必要とする保護者の保育ニーズに応えることができた。 ○委員意見 利用者のニーズがあるのであれば継続する必要がある。
	③成果	④課題	
	預かり園児:54人 一時預かり園児:延べ213人 保護者のニーズへ臨機応変に対応し、子育て支援が図られた。	幼稚園の入園者が年々減少しており、預かり保育希望者数に変動があるため、保育士の確保が課題である。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【18】 青少年姉妹町村研修事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 478,199円 担当;教育総務係	姉妹町村である岩手県葛巻町の中学生と本村の中学生との間で青少年交流事業を実施し、貴重な体験を通して社会的視野を広め、自律の心を育てるとともに、本村の文化・伝統等の発信と将来を担う人材ネットワークの形成を図る。	葛巻町の中学生を受入れ、有意義な研修・交流を実施する。	本交流事業は、互いの文化や伝統を体験できる有意義なものであるため継続して取り組んでいく。 ○委員意見 良い取組であり、姉妹町村として永く続けてきた事業であり、今後も継続していただきたい。
	③成果	④課題	
	葛巻町の中学校の生徒14名を受入れ交流を深めることで、北中城村に関する情報の発信や異なる文化に対する理解を深めることができ、相互の連帯意識の高揚とリーダーシップの醸成を図ることができた。	今後も例年通りの訪問研修を実施し交流をより深める。	

Ⅱ 事務事業について

1 幼稚園・学校教育の充実

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【19】 幼稚園の預かり保育園児・教諭への給食の提供 【進捗状況】 順調 【決算額】 1,675,040円 担当；給食共同調理場	預かり保育の園児と教諭等に週3日給食を提供すると共に、栄養教諭や調理員を派遣して食育指導を行なう。	・週3日給食提供 ・食育指導	幼稚園における食育については、「幼稚園教育要領」でも充実が図られている。実際に食する学校給食と関連づけながら、発達段階を踏まえ指導する方法は効果的であると考ええる。 預かり保育を利用する園児のみならず、すべての園児を対象とすることで更なる効果が期待できる。 ○委員意見 良い取組であり、継続してもらいたい。
	③成果	④課題	
	週3日の給食提供を実施。食育指導については、3月に給食試食会を実施、その際に栄養教諭が食育指導を行った。また、「給食だより」にて必要な情報を提供した。	食育については、望ましい食習慣の形成を目指すことと、幼小接続の観点から、すべての園児を対象とすることが望ましいと考える。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【20】 学校給食における地産地消 【進捗状況】 順調 【決算額】 1,301,000円 担当；給食共同調理場	地元食材を取り入れることによって、児童生徒が地域の特産品を知り、食文化を味わい、地域への愛着につながると共に安全で安心なおいしい給食の提供が図られる。	・地元の食材を優先利用する。 ・地域の農水産物を利用した給食と食への関心を高める。 ・県産品奨励月間(7月)に、地産地消の取り組みについて給食だよりや校内放送で周知する。	今後も地産地消の取り組みが継続できるよう、関係機関と効果的な連携を図り、安定的な供給が受けられるよう工夫する必要がある。 ○委員意見 地産地消も重要だが、食べ残しも多いようなので食育にもっと力を入れた方がよいと思う。
	③成果	④課題	
	給食で使用した地元食材の数量(金額) R3 8,718.90kg(3,192,759円) R4 6,572.80kg(3,181,305円) R5 2,653.80kg(1,301,620円)	・地元農水産物の供給を安定的に受けられるよう、関係機関と連携を図る必要がある。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【21】 学校給食共同調理場改修工事 【進捗状況】 順調 【決算額】 26,719,000円 担当；給食共同調理場	経年劣化による故障、不具合の多い調理場の改修に向け、令和4年度に実施した実施設計に基づき、改修工事を行う。	夏休み期間中に改修工事を実施する。	改修に伴い、衛生環境が改善された。今後も良好な状態が継続できるように、調理場の維持管理を適切に行っていく。 ○委員意見 衛生環境も良くなり、綺麗になったので良い事業である。
	③成果	④課題	
	屋根の防水工事、調理場内の天井、壁、床のカビ、ひび割れなどが改善された。	全職員で衛生管理を意識しながら維持管理に努める。	

Ⅱ 事務事業について

2 生涯学習の推進

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【22】 公民館事業 (各種教室・講座) 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 667,500円 担当;社会教育係	村民の生涯にわたる学習活動を支援推進するため、各種講座や教室など実施する。	フラダンス教室や高齢者学級など全8事業を実施する。	講座を経てフラダンスサークルが新たに立ち上がった。既存サークルであるズンバでは延べ46名が参加し新たに会員を増やすことができた。お金についての本当の話講座では放送大学日熊客員教授による全4回の講座を実施し、51名の参加者があった。今後も既存サークルを知ってもらう機会として講座を開催するとともに、体験や教養を深める講座の展開を図る。
	③成果	④課題	○委員意見 今までに無い面白い講座を企画してサークルになった事例もあり、良い取組である。年間計画表を作成して周知すればもっと多くの参加者が増えると思う。
	今年度は新規サークルの立上げに向け、親子フラダンス講座を実施したほか、既存サークル団体による講座体験を中心に実施した。また「お金についての本当の話」といった学習講座を実施した。全講座の延べ参加者数は268名となった。	学び方と多様化するニーズへの対応が必要。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【23】 第22回生涯学習フェスティバル 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 32,714円 担当;社会教育係	村民が生涯に亘って学習する機運を高めるとともに、本村の生涯学習活動の活性化と地域づくりに資するため、活動の実践や展示などを行う。	各サークルの成果を発表するため2月中旬にフェスティバルを開催する。	新型コロナウイルスの影響を受けない最初の年ということもあり、来場者数も多くあった。キッチンカーの誘致により、会場の華やかさが増し、来場者に食事を提供することもできた。常時来場者が訪れ、中央公民館の駐車場だけでは足りず、ステラ保育園、社協などに協力をいただきながら安全な運用を行うことができた。
	③成果	④課題	○委員意見 今後のフェスティバルの持って行き方でより盛り上がる事を期待する。予算措置をすると更に充実したフェスティバルになると思う。
	各サークルの成果を発表したほか、出演団体の公募やダンスなど既存サークルによる体験コーナーなどを設置し盛況を得た。またキッチンカーの誘致し来場者へ飲み物と食事を提供することができた。	駐車場が足りず案内が難しかった。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【24】 地域学級等補助事業 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 585,000円 担当;社会教育係	地域住民の学習要求に応えるために、自治公民館を利用して開催される学級に補助を行うことにより、自治公民館との連携強化及び、社会教育の活性化を図る。婦人会会員の様々なニーズや学習課題に応え、会員の資質向上をめざす。	14自治会に対し、各45,000円を補助。	当該補助金により地域の婦人会や子供会など幅広く活動を行うことができていいる。活動の成果はそのまま地域の活性化につながることから、継続して実施する必要がある。
	③成果	④課題	○委員意見 地域学級の在り方が変わってきている。現在の実情に合わせて事業の見直しも必要ではないか。全自治会へ交付できるように期待する。
	13団体に補助を実施し各自治会における学習事業を実施することができた。	地域学級を実施する団体が組織できないなどの理由で当該事業を実施できない自治体がある。	

II 事務事業について

2 生涯学習の推進

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【25】 中央公民館空調機器設置工事 【進捗状況】 順調 【決算額】 3,960,000円 担当;社会教育係	中央公民館ホールの空調機器の故障に伴い、既存機器の修繕ではなく、壁かけタイプのを6基新設した。	ホール:6基新設 ④課題 老朽化が進む施設設備については、全体の更新も視野に検討しなければならない。	将来的に全体的な更新を予定しているため、部分的な改修にとどめることができ、再利用可能な状態で施工することができた。 ○委員意見 新設の空調は不具合もなく、温度調整も可能で公民館が快適に使用できるようになり良かった。
	③成果	④課題	
	安定した稼働による利用者の安全を確保することができた。		
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【26】 放課後子ども教室推進事業 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 715,726円 担当;社会教育係	子どもを取り巻く環境の変化に伴い、放課後等における子どもたちの安全・安心な居場所づくりとして北中城小学校・島袋小学校の両校で実施。	北小:登録児童60名 毎週1回 ボランティア3名/回 島小:登録児童40名 毎週1回 ボランティア1名/回 指導員の配置	令和5年度は2校ともに概ね開催することができた。開催にあたっては北中城小学校において、子ども達の活動場所の確保が難しかった。宿題たすけ隊では美来工科高校ITシステム科、沖縄国際電子ビジネス専門学校より生徒がボランティアでプログラミングを子ども達に教え、オリジナルのゲームづくりに挑戦した。 ○委員意見 本来、空き教室を活用した事業だが、学校以外での教室運営を考えられないか。地域活性化のためにも教室の在り方を考えてみてほしいと思う。
	③成果	④課題	
	北中城小学校53名及び島袋小学校35名の参加があり、あわせて夏休み宿題助け隊において、43名の参加者と13名のボランティアにより開催することができた。	北小において、空き教室がなく、開催場所について協議が必要。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【27】 地域学校協働本部推進事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 1,157,673円 担当;社会教育係	地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進し、学校教育を積極的に支援することにより地域の教育力の向上を図る。	北小:ドリームウォール作成 島小:ミシン学習補助 北中:個別学習指導派遣 学校支援コーディネーターの配置	計画事業については、すべて実施しており、コーディネータを中心にきめ細かい学校支援が行えている。 ○委員意見 人材バンクの立ち上げなどを検討してはどうか。教育総務課の家庭地域部会との連携のあり方も考えてもらいたい。
	③成果	④課題	
	北中城小学校ではドリームウォールペンキ塗り、しめ縄づくり、オオゴマダラ放蝶体験を実施し、島袋小学校ではミシン学習補助、しゅくいシーサーづくりを実施した。地中学校では個別学習支援を実施し、面接官派遣を行った。	ボランティアの参加者の減少	

Ⅱ 事務事業について

2 生涯学習の推進

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【28】 社会教育団体育成補助事業 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 3,975,000円 担当;社会教育係	村内各種団体の保護育成を図り、団体の活発なる活動を遂行させるため補助金を交付する。 ○村女性会 ○村青年連合会 ○村青少年健全育成協議会 ○村子ども会育成連絡協議会 ○村父母教師会連合会	女性会:1,461,000円 青年連合会:445,000円 青少協:266,000円 村子連:939,900円 父母教師会:864,000円	地域活動の低迷を招いているが、新たな展開や、要望などもあり、これらのニーズへの対応は衰退する各組織の新たな展開のヒントとなる可能性もあり、それらを実施できる体制の構築を検討する。 ○委員意見 新型コロナウイルスの流行で低迷している部分が見られるので、コロナ前の状況に戻す取り組みが必要である。
	③成果	④課題	
	各種団体において、活動による地域の活性化を図ることができた。	各団体とも加入する団体数の減少があり、事業実施について再考する必要がある。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【29】 はたちを祝う記念式典 【進捗状況】 順調 【決算額】 107,000円 担当;社会教育係	民法改正を受け、これまでの成人式との名称をはたちを祝う記念式典と改称し、はたちを迎える栄えある門出を祝い激励する。	対象者:202名	新たにはたちを迎える方々で構成される実行委員会からは、懐かしの給食を食いたいとの要望をうけ、給食センター、女性会が協力し、マンビカーの姿揚げを参加者全員にふるまった。北中城村ならではの取組であり、中学校を卒業して5年がたってもなお色あせないふるさとの味として評価を頂いた。 ○委員意見 実行委員会の意見も聞きながら主体的に実施しているのは良い取組である。実施した後の反省などもフィードバックして今後の取り組みに活かしてほしい。
	③成果	④課題	
	実行委員会より、思い出の給食として、マンビカーの姿揚げを食いたいとの要望をうけ、給食センターと女性会のボランティアにより、提供し記念式典を無事終えることができた。	実行委員会を担っていただける新成人の確保が難しくなっている。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【30】 第19回夏休み海外短期留学派遣事業 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 7,099,000円 担当;社会教育係	村内の中学生・高校生に海外で学習する機会を与えることにより異文化理解と視野の拡大、国際性豊かな人材育成及び国際社会に適応する能力、資質の向上を図る。	派遣人数:5名 7/13から8/2まで21日間 留学先:アメリカワシントン州立大学	県内4市村により構成される実行委員会での実施であり、協定によりアメリカ州立ワシントン大学での開催が行えている。留学により直接得られるものがあり、かけがえのない体験として継続する必要がある。 ○委員意見 良い取組であり、続けてほしい。留学に行った後の活躍や、進路などの成果などを知ることができたら今後の励みになると思う。
	③成果	④課題	
	令和元年度以来となる海外短期留学事業となりましたが、5名の生徒の派遣を行った。	派遣に係る事業費が、アメリカ経済や為替の影響により高額化している。	

II 事務事業について

2 生涯学習の推進

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【31】 第14回北中城村英語 キャンプ・プログラム (ECP)事業 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 288,000円 担当;社会教育係	ワシントン州立大学より講師を派遣し、1週間親元を離れ英語学習を実施する。	派遣講師2名 参加者:8名 7日間看護青少年の家で宿泊研修	県内4市村により構成される実行委員会での実施であり、アメリカ州立ワシントン大学教授による高度な英語学習を沖縄県内で学ぶことができる事業となっており、事業効率や費用対効果などを検証し求められるニーズを反映させながら継続する必要がある。 ○委員意見 英語のスキルアップの為には大切な事業であり、続けてほしい。参加者が少ないのでPRが必要である。
	③成果	④課題	
	参加者は3名であったが、参加者より様々な体験ができ非常に良かったとの評価を頂いた。	事業の展開方法など評価方法を確立し、検証しなければならない。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【32】 北中城村DOTEプログラム 【進捗状況】 順調 【決算額】 7,584,500円 担当;社会教育係	米国大学と提携し、オンライン上での継続的な国際語としての英語の学習支援をとおして、児童生徒の英語力向上を図るとともに、本村の国際性に富む人材育成に寄与する。	前期32回:A12名、B12名 後期32回:A12名、B12名 2時間/回 実施場所:あやかりの社	ワシントン州立大学と北中城村において、協定を結び実施している事業となるが、今後の事業展開について検討していく必要がある。 ○委員意見 事業成果が見えてこない。事業内容について見直しが必要である。
	③成果	④課題	
	あやかりの社での受講とオンラインでの受講をハイブリッドで行い参加者ニーズに応えながら、英語講座をすべて実施することができた。	小学生などで学習に集中できない状況が発生した。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【33】 あやかりの杜運営管理事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 54,192,000円 担当;社会教育係	「あやかりの杜」は図書やDVDなど動画コンテンツを含め85,000点の貸出とキャンプ場、ドミトリー、各種会議室など複合的な機能を有している。それらの機能を十分に活用し、住民へ魅力あるサービスの提供を図るため運営を指定管理により委託する。	図書館運営 図書選定 キャンプ施設運営 軽微な修繕 システム管理	複合施設となるあやかりの社について、専門的知識や民間によるノウハウが活かされており、継続して指定管理による事業実施が必要となる。 ○委員意見 講座の設定にバリエーションがあり、利用者のニーズを満たしており好評である。展示会なども良い取組である。
	③成果	④課題	
	年間来場者数50,064人、貸出冊数72,139冊となりコロナ前と比べ利用者数は20,000人程度減少しているが、令和4年度からは5,000人ほど伸びており、活気が戻る兆しが見える。2014年度ぶりに「夜の図書館」を実施し好評を得た。	人件費の高騰や施設老朽化による修繕の実施、システムの改修など事業費について、検討が必要となっている。	

Ⅱ 事務事業について

2 生涯学習の推進

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【34】 あやかりの杜滞在型施設活用事業 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 4,999,500円 担当;生涯学習課	あやかりの杜の滞在型施設を活用し、住民だけでなく観光客も含めた魅力ある講座や学習機会の提供を実施し本村の観光振興を推進するための事業を委託する。	体験型講座として、北中城村の食材を積極的に活用する料理講座や沖縄県の伝統芸能など魅力発信につながる講座を開催する。 講座:12事業60講座	あやかりの杜施設利用の促進と北中城村の魅力発信に向けた事業となっているが、その効果を検証することがアンケートでは難しく、今後事業の継続や運営方針の見直しが必要。 ○委員意見 三味線などの機材も揃っており、村の観光協会と連携して取り組めばもっと相応しい事業が展開できると思う。村公式ラインやSNSをもっと活用して広く募集を行ってみてはどうか。
	③成果	④課題	
	12事業60講座すべての講座を実施した。	滞在型施設を活かした事業の提供が難しい。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【35】 第23回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会 【進捗状況】 順調 【決算額】 140,000円 担当;社会教育係	近隣市町村の小学生と対戦することにより、技術力の向上と同時に健全育成及び学校間の交流へと和を広げる。	周辺市町村より6チームを招致し、北中城小学校、島袋小学校のチームを加えた8チームによるリーグ戦を開催する。	スポーツ機会の創出と競技レベルの向上を図る事業であり、継続して実施する必要がある。 ○委員意見 全国的にバスケットが盛り上がり、父母会の全面的なバックアップの中でしっかりと運営されている。良い取組であり続けてほしい。
	③成果	④課題	
	大会を2日に分けリーグ戦を実施し、すべての試合を行うことができた。男子は北中城小学校が優勝し、各選手の技術力の向上を図ることができた。	競技レベルの維持向上に向け、運営及び指導の人材確保に努めなければならない。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【36】 海邦国体記念第33回北中城村長杯県選抜少年サッカー大会 【進捗状況】 順調 【決算額】 342,000円 担当;社会教育係	海邦国体記念事業としてスタートし、村内の児童生徒のサッカー競技の振興、沖縄県少年サッカーのレベル向上に寄与する。また、沖縄県内のリーダー養成の一環として行う。	12地区選抜チームとU11選抜、北中城選抜を加えた全14チームが参加。 監督会議の実施。 開催団体への補助の実施	沖縄県内における主だった大会として認知されており、県の代表選抜選考も行われる重要な大会となっており、継続実施が望まれる。 ○委員意見 大会自体がレベルアップして認知度も向上してきており、決算額に対して費用対効果は高い。今後も続けてほしい。
	③成果	④課題	
	すべての試合を実施し、技術力の向上を図ることができた。	急な天気の変化など大会スケジュールへの柔軟な対応が必要。	

Ⅱ 事務事業について

2 生涯学習の推進

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【37】 北中城村スポーツ協会補助事業 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 5,195,000円 担当;社会教育係	北中城村に広くスポーツを振興して、その普及発展とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、体育運営を振興して北中城村民の体力向上とスポーツ精神を養うことを目的とする。	各種夏季大会の実施 村陸上競技大会の実施 各種監督会の開催 中頭スポーツ協会対応 沖縄県民大会対応	本村のスポーツ振興に重要な役割を果たしており、各自治会との連携と活性化を図るためにも継続する必要がある。 ○委員意見 自治会の活性化、地域づくりのために必要であり、事業を継続していただきたい。
	③成果	④課題	
	夏季大会10競技及び陸上競技大会すべて実施した。	参加者の減少	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【38】 北中城村少年野球連盟補助事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 255,000円 担当;社会教育係	野球、ソフトボールを通じて北中城村の青少年のスポーツ活動振興と健全育成を図る。	北中城村少年野球大会の4回実施	スポーツの機会創出とチームプレイによる協調の学習の機会として、有用であり、今後加入チームの拡大策を行いつつ事業継続が必要と考える。 ○委員意見 スポーツも多様化する中で野球だけに補助をするのは時代にそぐわない。他のスポーツ分野にも補助を広げるようにしていただきたい。
	③成果	④課題	
	大会をすべて実施することができた。	補助の在り方として、多様なスポーツへの支援を整理する必要がある。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【39】 九州スポーツ推進委員協議会九州大会派遣事業 【進捗状況】 順調 【決算額】 203,920円 担当;社会教育係	スポーツ推進委員協議会九州大会において、本村出身の委員が表彰されることとなることを受け、更なる知識の向上のため2名の委員を派遣する。	北中城村スポーツ推進委員長及び表彰者の2名の旅費の支給。	スポーツ推進委員の努力と更なる知識向上による村民への意識高揚を図るため、積極的に参加を促したい。 ○委員意見 積極的に参加できるように予算確保してもらいたい。
	③成果	④課題	
	九州大会において、功労者表彰を受けるとともに、講義を受講し新たなスポーツの知識を得ることができた。	表彰の基準は満たしているが、応募多数により選ばれないケースや予算がつけることができないことがある。	

Ⅱ 事務事業について

2 生涯学習の推進

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【40】 北中城村児童生徒の県外派遣に関する補助事業 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 901,152円 担当;社会教育係	北中城村の児童生徒の運動競技及び文化活動等の県外派遣について航空運賃を補助する。	優勝及び選抜等により上位大会へ出場する場合の航空運賃の補助を行う。	島しょ県となる沖縄では上位大会への出場には経済的な課題があり、当該事業は各競技の選手育成や意識高揚を図るためにも継続して実施する必要がある。 ○委員意見 将来の夢を叶えるために、子ども達が自信を持ち、モチベーションを高めるために必要な事業である。予算を確保して続けてほしい。
	③成果	④課題	
	30名に補助を実施した。航空運賃の補助により、上位大会への参加を支援し、意識高揚及び競技レベルの向上が図られた。	県外派遣のある大会は、体育事業や文化事業など多様化しており、派遣基準については、周辺市町村の動向も注視しつつ、例規等見直しも視野に検討しなければならない。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【41】 北中城村スポーツ推進委員協議会 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 1,130,000円 担当;社会教育係	住民のスポーツの振興に関し、住民の求めに応じてスポーツの実技の指導、住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成、学校、公民館の教育機関、その他行政、スポーツ団体等の行うスポーツ行事・事業に協力する。	ニュースポーツ体験事業各種 体力測定事業 村子連ドッジボール ふれあいグラウンドゴルフ大会 実施 定例会議の実施	スポーツ推進委員15名を委嘱し、ニュースポーツなど普及活動や大会運営ボランティアの実施、体力測定運営など村スポーツの普及促進に尽力しており、継続して運営する必要がある。 ○委員意見 如何にしてスポーツ推進委員を確保するかが大切であり、欠員が出ないように取り組んでほしい。
	③成果	④課題	
	村子連ドッジボール大会での審判補助やニュースポーツ体験として、生涯学習フェスティバルにおいてモルック体験を実施した。	体力測定事業への参加者が少なくなっている。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【42】 各体育施設等の利用 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 69,445,956円 担当;社会教育係	スポーツの振興、村民の健康増進、レクリエーションの普及、各種事業等の利用に寄与する。	学校運動施設開放 村民体育館運営	システム稼働より1年が経過し、体育館施設への電話問い合わせも減ってきている。村民体育館仮設駐車場については、利用者の安全な利用のため、こまめにメンテナンスを行い、利用者の利便と運動機会の創出を継続して行う。 ○委員意見 村民の利便性の向上のためには駐車場の確保が必要である。多目的交流施設には駐車場を整備してほしい。
	③成果	④課題	
	オンラインシステムの稼働によりより簡単に利用できるようになり、スポーツの推進が図られた。	村民体育館仮設駐車場が車両の乗入により破損している。	

Ⅱ 事務事業について

3 地域文化の振興

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【43】 北中城村史編纂事業 【進捗状況】 大幅な遅れ 【決算額】 14,029,000円 担当:文化振興係	終戦前後から日本復帰までの本村の歴史的経緯を調査し、『北中城村史第5巻戦後編』として発刊する。	戦後体験記の原稿校正、各字公民館や個人から資料収集を行う。 村史編纂委員会にて、令和8年度発刊が正式決定された。	事業実施体制強化(2名増員)により、滞っていた作業を進めることができてい る。一方で、村の歴史への関心が高まっ ているため、既刊の村史を活用した展示 や学校における平和学習などのニーズ に対応する必要がある。 ○委員意見 遅々として進捗していないように思われ る。目途をつけて発刊にこぎ着けられる 事を期待したい。
	③成果	④課題	
	第1章概況のうち、喜舎場、安谷屋の原稿監修を完了した(残りは9字)。	戦後体験記の裏付けを取るため、個人が収蔵している資料(写真類など)の収集を急ぐ必要がある。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【44】 基地内文化財発掘調査事業 【進捗状況】 やや遅れ 【決算額】 168,238,000円 担当:文化振興係	「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」(平成25年4月)において移設・返還工程が示されたキャンプロウワー地区及び喜舎場ハウジングエリア地区について、区域内における埋蔵文化財調査をスムーズに進めるため、埋蔵文化財調査を実施する。	喜舎場ハウジング地区内の発掘調査及び出土遺物の整理を行う。	喜舎場ハウジングにおける移設工事の進捗に連動して、ロウワープラザの部分的・段階的返還が見込まれている。そのため、ロウワープラザの跡地利用のための調査も同時並行で実施する可能性が高いことから、防衛局や沖縄市等の関係機関と連携して情報収集や調査計画の検討を進める。 ○委員意見 出土品については貴重であり、展示会や学校で見学するなど、出土品の活用を検討していただきたい。
	③成果	④課題	
	喜舎場ハウジング地区内古墓21基の発掘調査及び令和3年度の発掘調査により出土した遺物の整理業務を行った。	当初計画段階では想定していたなかった不時発見墓が相次ぎ、対応に追われている。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【45】 歴史文化継承基盤整備事業 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 7,489,000円 担当:文化振興係	「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき計画を策定し、3省庁(国交省、文科省、農林水産省)へ認定を受ける。	過年度に実施した基礎調査や外部有識者の助言をもとに「歴史的風致維持向上計画(歴史的まちづくり計画)」の素案を作成する。	計画案へ記載する内容に対し、学術的根拠が求められることから文化財保護審議会等の助言をもとに内容を洗練させる必要がある。 ○委員意見 県内でもあまり事例の無い取組であり、素晴らしい事業である。今後の活用やデータベース化について検討する必要がある。
	③成果	④課題	
	計画策定委員会、推進協議会などで意見聴取の上、計画書素案を作成した。	計画書素案中の学術的な記述等の校正や、重点区域の範囲がまだ確定できていない。	

Ⅱ 事務事業について

3 地域文化の振興

事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【46】 文化活動の推進 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 2,584,000円 担当:文化振興係	北中城村文化協会への事業支援	・しまくとぅば語やびら大会 ・文化祭(展示・舞台部門) ・県立芸術大学との交流事業 ・北中城村小中学生文芸大賞	新規加入者の獲得が目下の課題である。各種事業への取り組みを通して、特に若年層に対する働きかけを強化していきたい。 ○委員意見 文化協会として精力的に取り組んでいるが、会員が高齢化している。周知やPRを行う事で若い人も入ってくると思う。展示会などでは教育委員会の協力体制(サポート)が必要である。
	③成果	④課題	
	事業計画にある全ての事業を数年ぶりに実施することができ、文化活動の推進に寄与した。	村民に対し、文化協会内の各部の活動等周知を図るなど、若年層加入促進へ向け取り組む必要がある。	
事業名等	①事業概要	②事業計画	⑤内部評価及び委員の意見
【47】 文化財保護事業 【進捗状況】 概ね順調 【決算額】 6,757,000円 担当:文化振興係	中城城跡管理や村内の文化財保護に向けた取り組み、各種民俗芸能保存団体に対する支援を行う。	・わかてだを見る集い ・中村家住宅及び中城城跡における防災訓練 ・通年各種民俗芸能保存団体等補助支援 ・中村家住宅環境保全対策	伝統芸能後継者不足、担い手不足等により途絶えつつある伝統を映像や解説入り動画等で残していくなど、新たな手法を検討する必要がある。 ○委員意見 伝統行事については深刻な後継者不足になっており、学校行事で取り入れる事や、地域で繋ぐ人を育成する取組が必要である。
	③成果	④課題	
	文化財防火訓練や民俗芸能保存団体への支援は概ね予定通り実施できた。また、中城城跡において来場者数がコロナ禍以前の水準まで回復してきている。	深刻な後継者不足により、一部、民俗芸能保存会の活動休止が続いている。	

(平成21年11月6日教育委員会規則第4号)

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第2項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価を行うため、北中城村教育委員会事務点検評価委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、教育委員会の諮問に応じて、教育に関する事務の管理及び執行の状況に関して点検評価をする。

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

2 委員は、教育に関し、学識経験を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 委員長は、会議の議長となり、議事を整理する。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成21年11月6日から施行する。

(任期の特例)

2 この規則の施行の日以後最初に委嘱される委員の任期は、平成23年3月31日までとする。